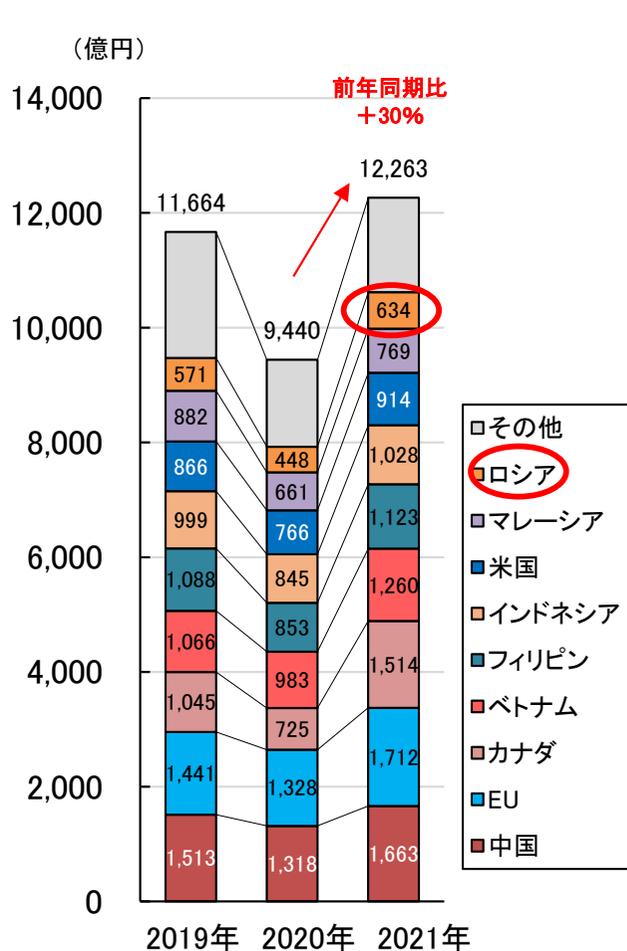


# ロシアからの木材輸入動向などについて

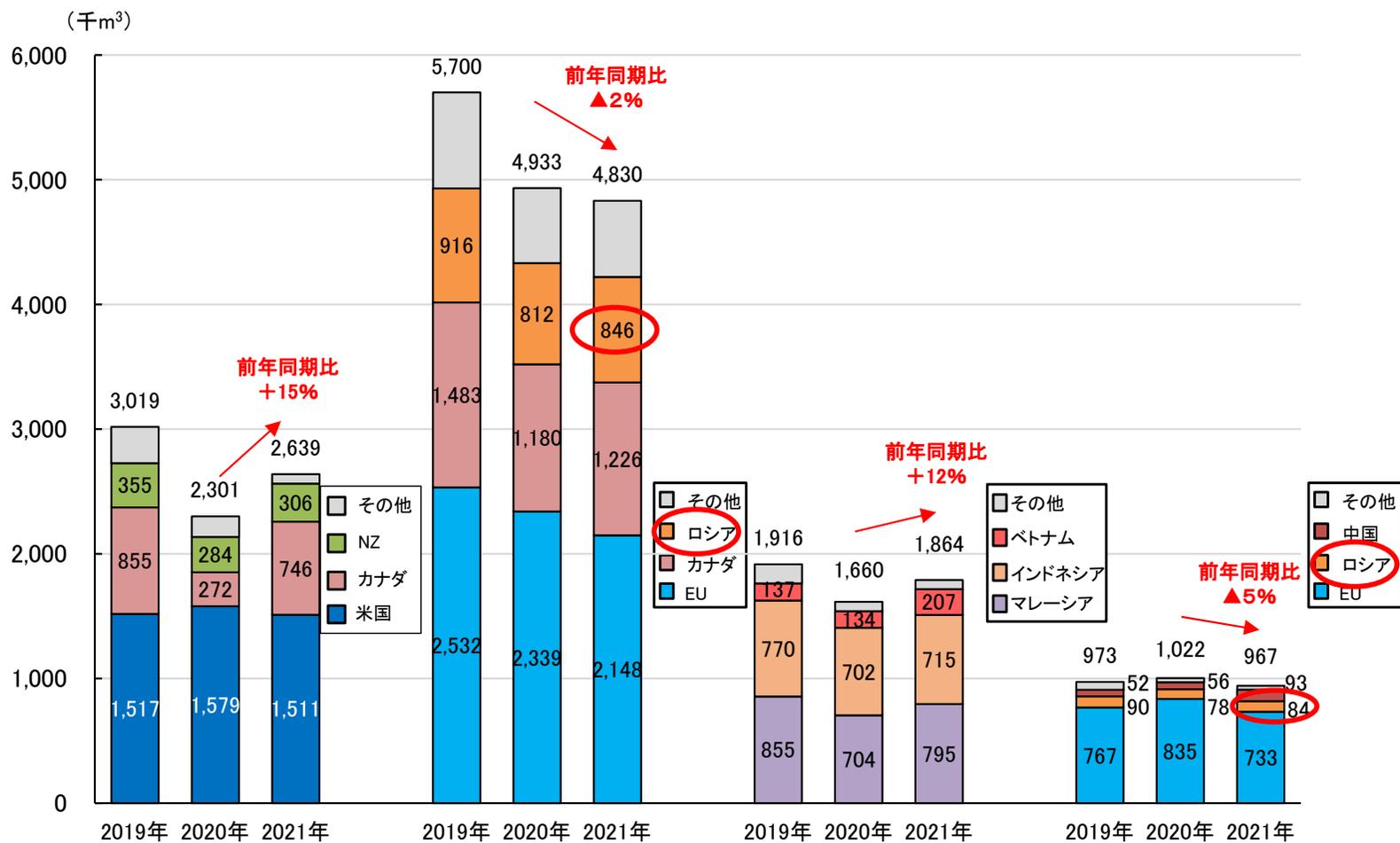
林野庁 木材利用課 木材貿易対策室

# 2021年の木材輸入実績

- 2021年1～12月の木材輸入額累計は、前年同期比+30%増の12,263億円。
- 品目別の輸入量累計を見ると、丸太が同+15%、合板が同+12%増加する一方、製材が同▲2%、集成材が同▲5%減少。カナダの丸太が増加する一方、EUの製材・集成材、米国の丸太が減少。
- なお、2019年同期と比較すると、2021年1～12月の木材輸入額累計は同+5%増加。品目別では、丸太が同▲13%、製材が同▲15%、合板が同▲3%、集成材が同▲1%と軒並み減少。



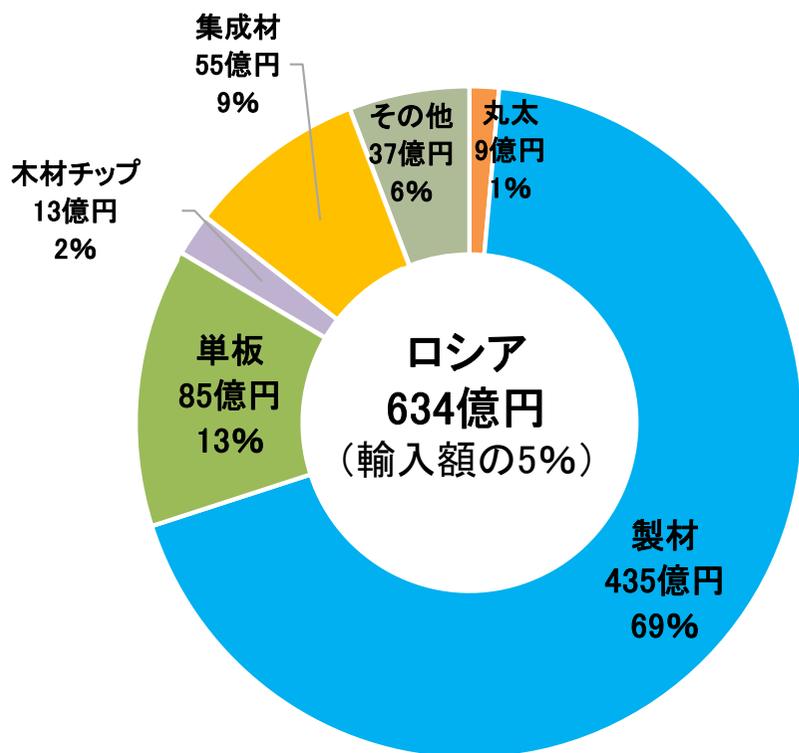
木材輸入額の推移  
(2019～2021年)



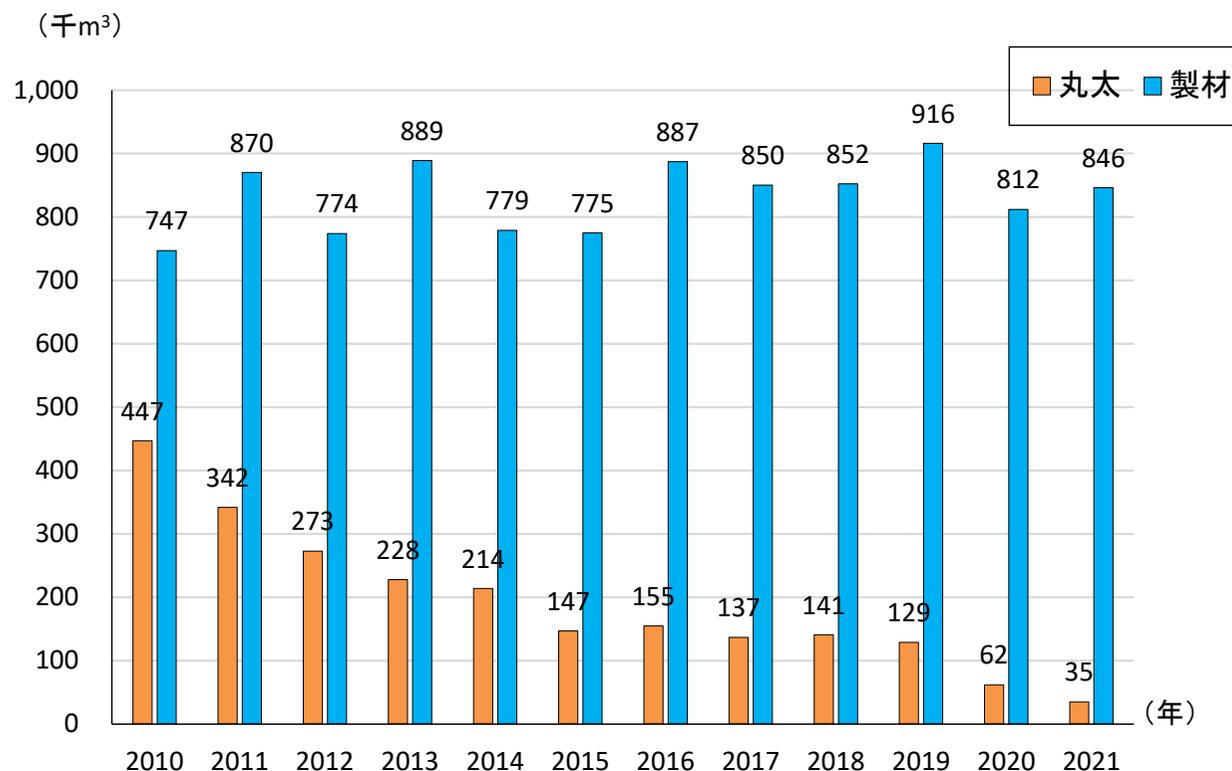
品目別木材輸入量の推移  
(2019～2021年)

# ロシアからの木材輸入動向

- ロシアの丸太生産量は2.0億m<sup>3</sup>、製材生産量は4,180万m<sup>3</sup>(2020年)。
- ロシアからの木材輸入額のうち、製材が約7割、丸太が1%。国内加工業育成のための丸太輸出税導入により、丸太輸入量が大幅に減少する一方で、製材輸入量は概ね横ばい。
- ロシアからの製材輸入量(85万m<sup>3</sup>)は、我が国の製材輸入量全体の18%を占める。ロシア産の製材は、主に、タルキや下地材等の羽柄材に使用。
- 2022年1月から、未加工の丸太と粗く加工された木材の輸出を禁止。また、10cm×10cmを超える未乾燥の製材に高率(200ユーロ/m<sup>3</sup>)の輸出税を賦課。

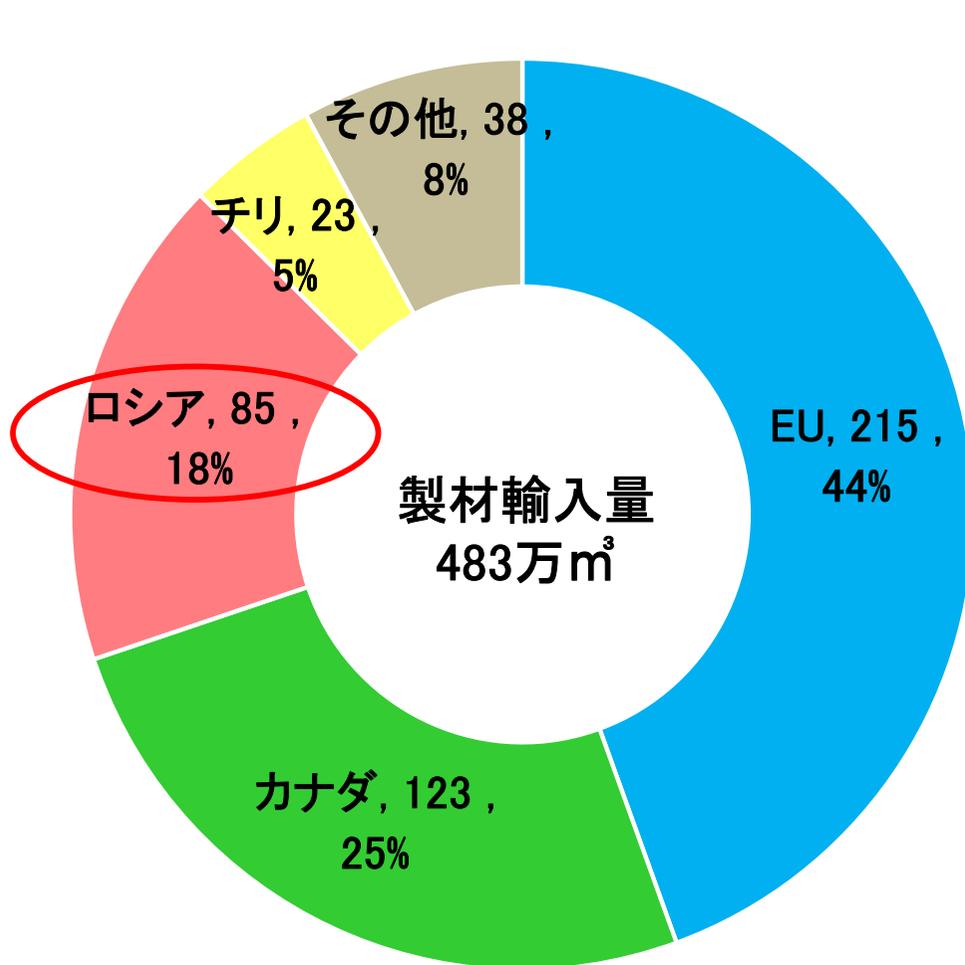


ロシアからの輸入額(2021年)

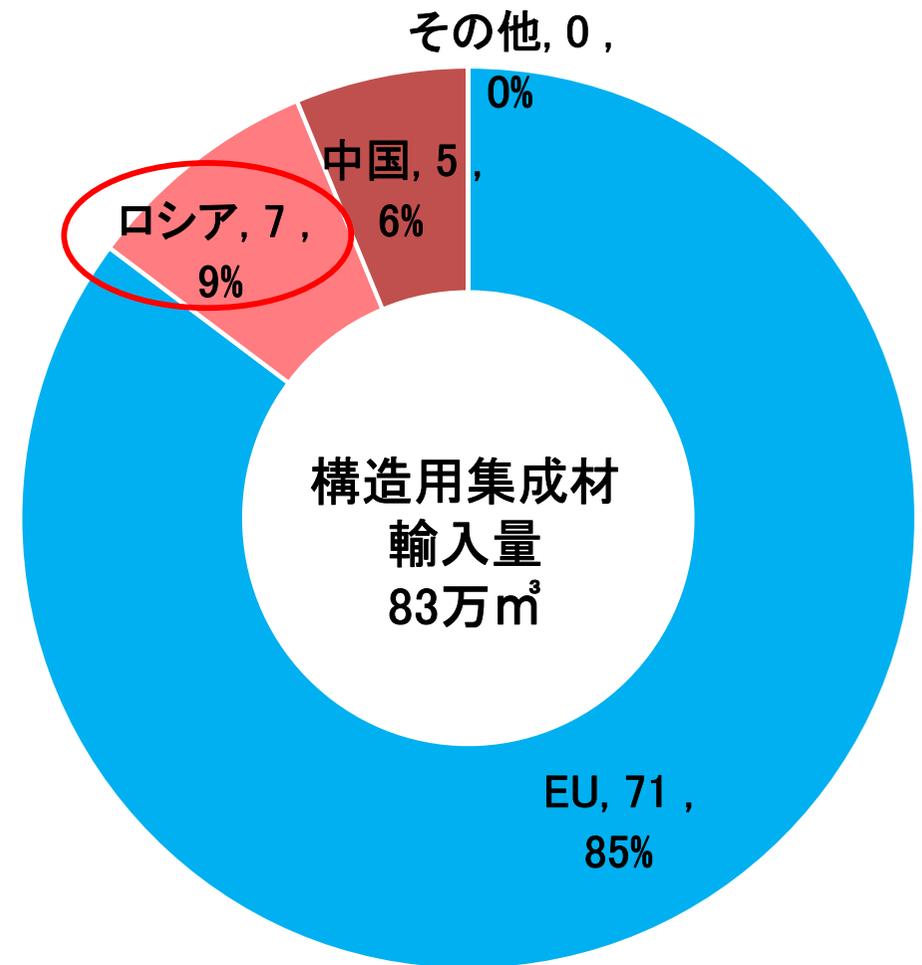


ロシアからの輸入量の推移(丸太、製材)

# 我が国の製材・構造用集成材の輸入量

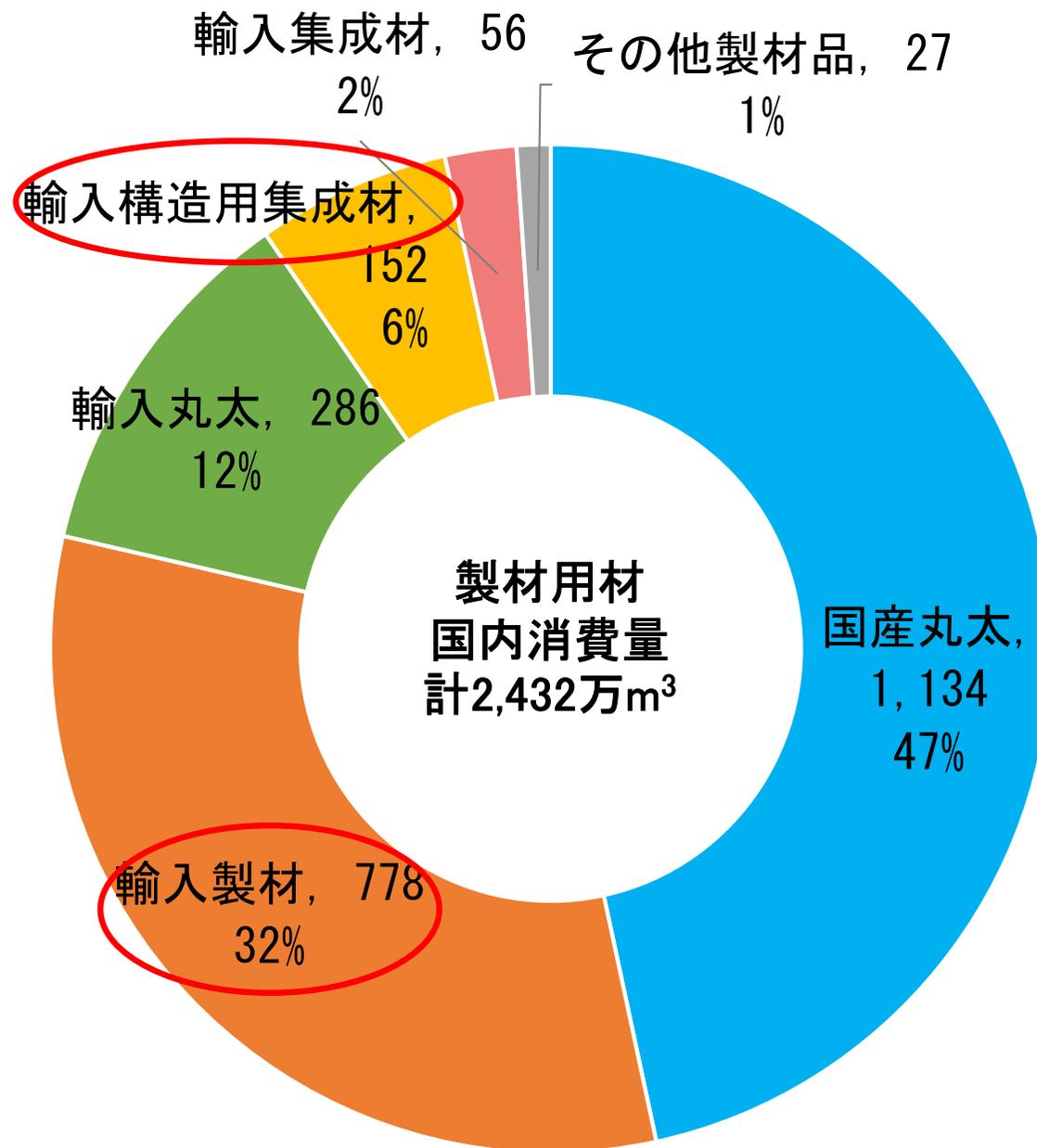


製材輸入量(2021年)



構造用集成材輸入量(2021年)

# 国内の製材用材消費量内訳

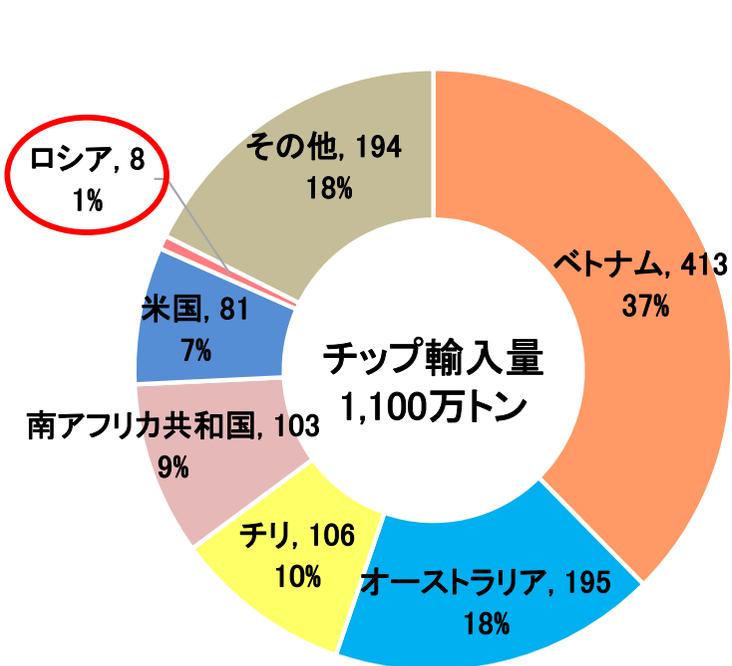


国内の製材用材消費量内訳(2020年)

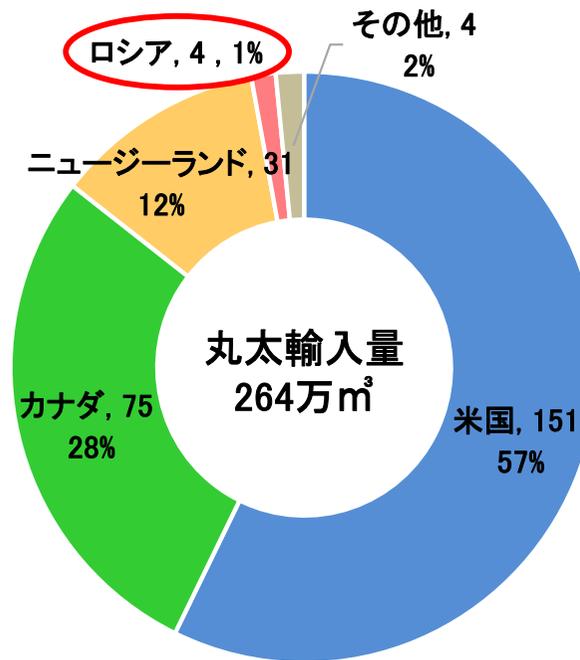
資料: 木材需給表

注: 消費量は丸太換算材積。

# 我が国のチップ、丸太、単板の輸入量

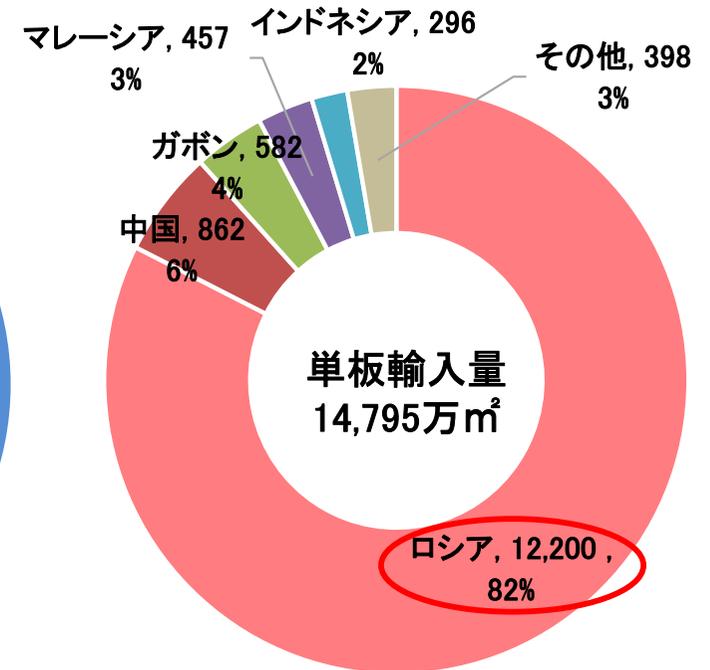


チップ輸入量(2021年)



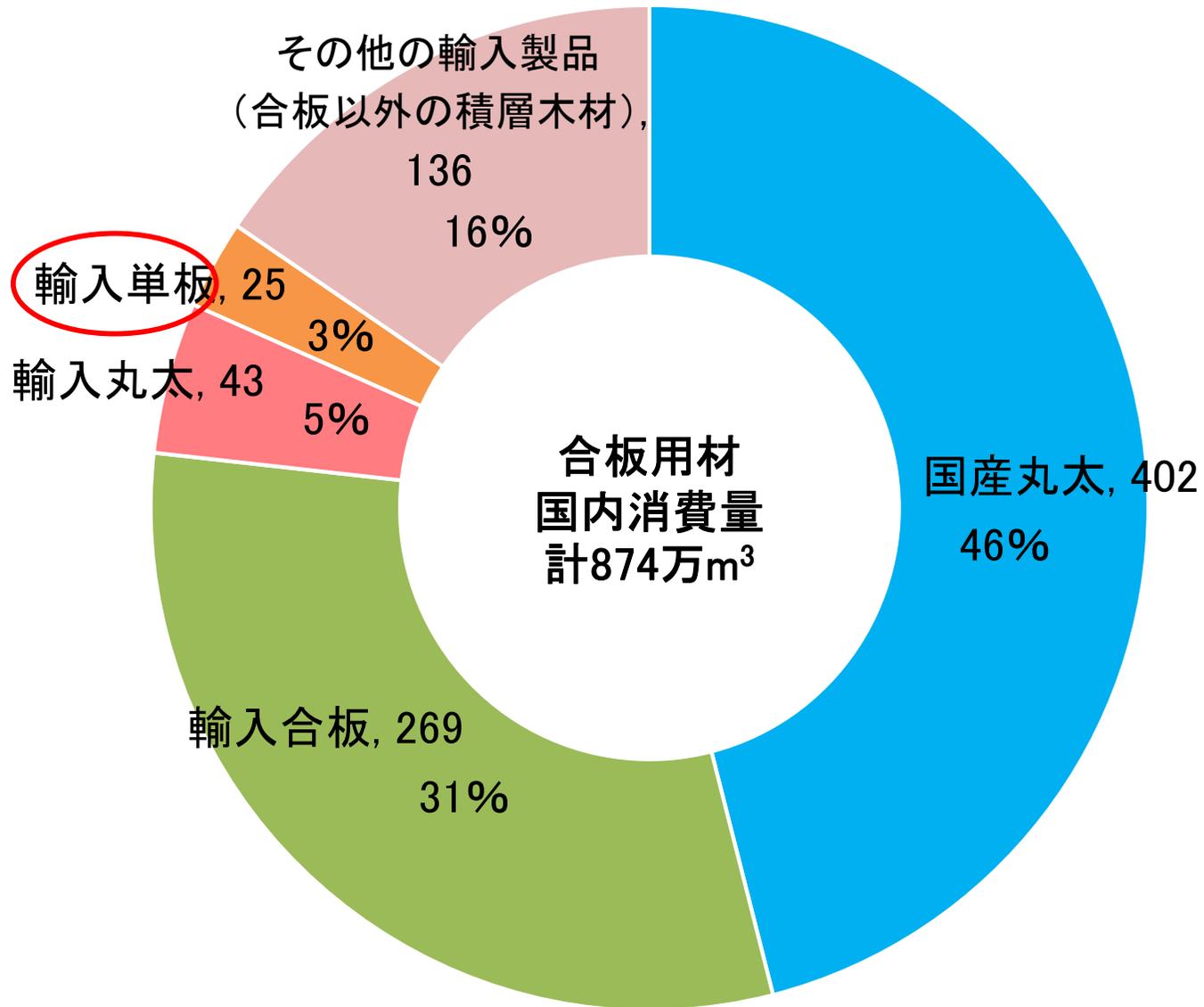
丸太輸入量(2021年)

※ロシアは2022年1月から丸太輸出を禁止。



単板輸入量(2021年)

# 国内の合板用材消費量内訳



国内の合板用材消費量内訳(2020年)

資料: 木材需給表

注: 消費量は丸太換算材積。

# 世界における木材貿易の流れ

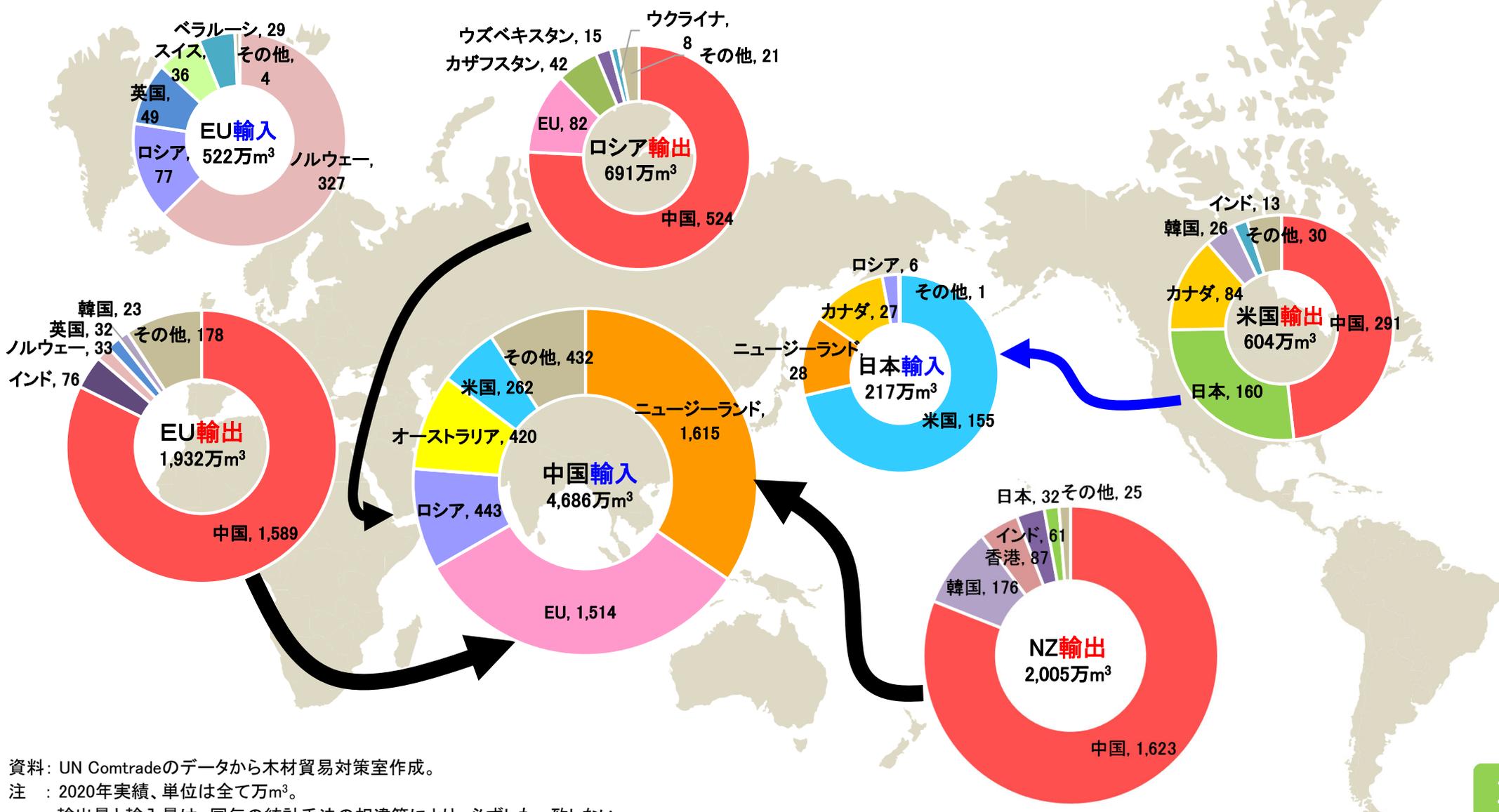
－針葉樹丸太、針葉樹製材、合板－

令和4年2月

林野庁木材貿易対策室

# 1. 世界における針葉樹丸太の貿易

- 2020年における世界の針葉樹丸太輸出量は約9,800万m<sup>3</sup>。NZ(20%)、EU(20%)、ロシア(7%)、米国(6%)で全体の53%を占める。
- 同年における世界の針葉樹丸太輸入量は約1.03億m<sup>3</sup>。中国(45%)、EU(5%)で全体の50%を占める。
- 主な流れは、NZ→中国(1,600万m<sup>3</sup>程度)、EU→中国(1,500万m<sup>3</sup>程度)、ロシア→中国(500万m<sup>3</sup>)など。
- 日本の針葉樹丸太輸入量は217万m<sup>3</sup>で、世界の2%を占める。米国からの輸入が71%。



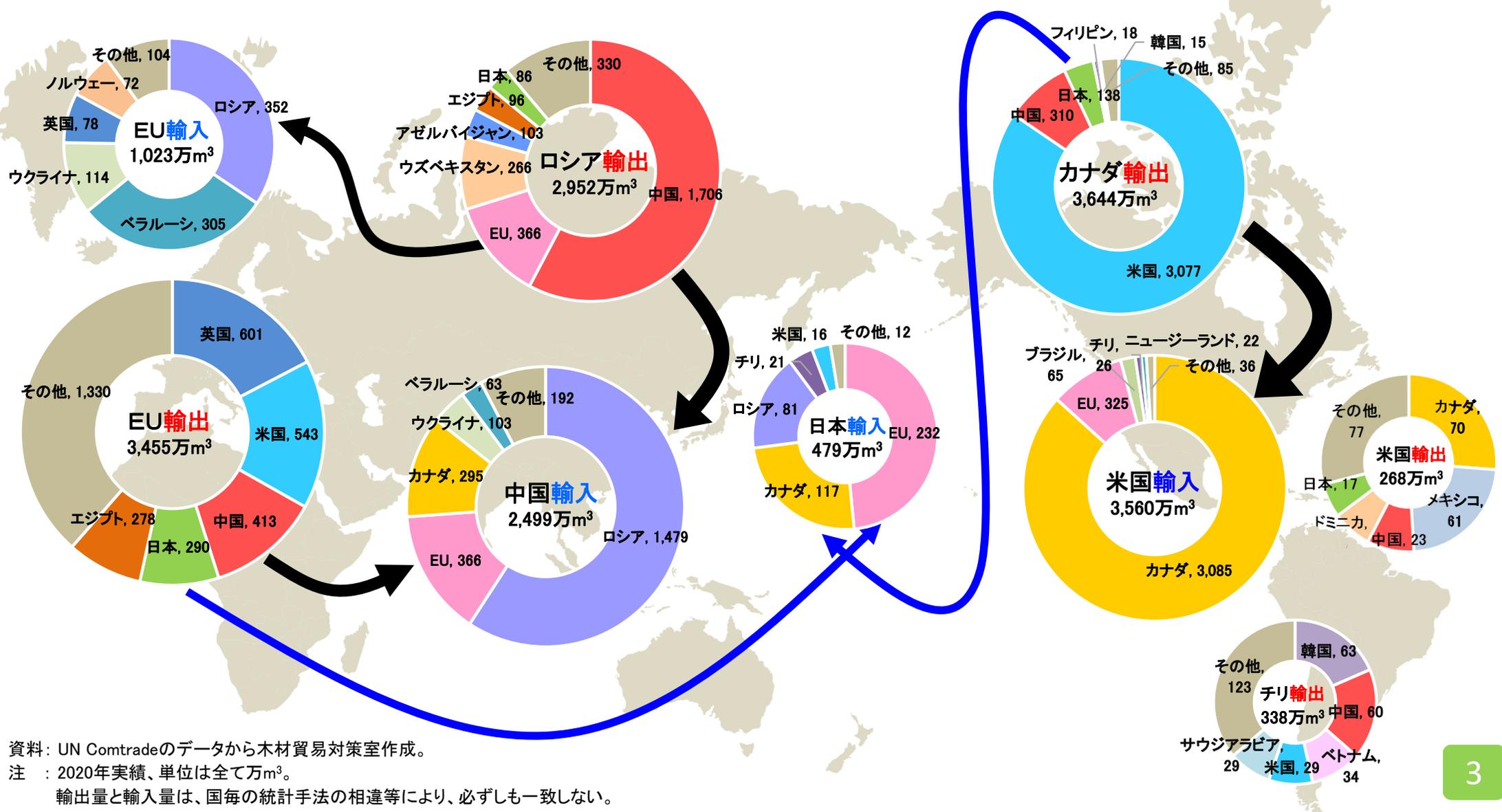
資料: UN Comtradeのデータから木材貿易対策室作成。

注: 2020年実績、単位は全て万m<sup>3</sup>。

輸出量と輸入量は、国毎の統計手法の相違等により、必ずしも一致しない。

## 2. 世界における針葉樹製材の貿易

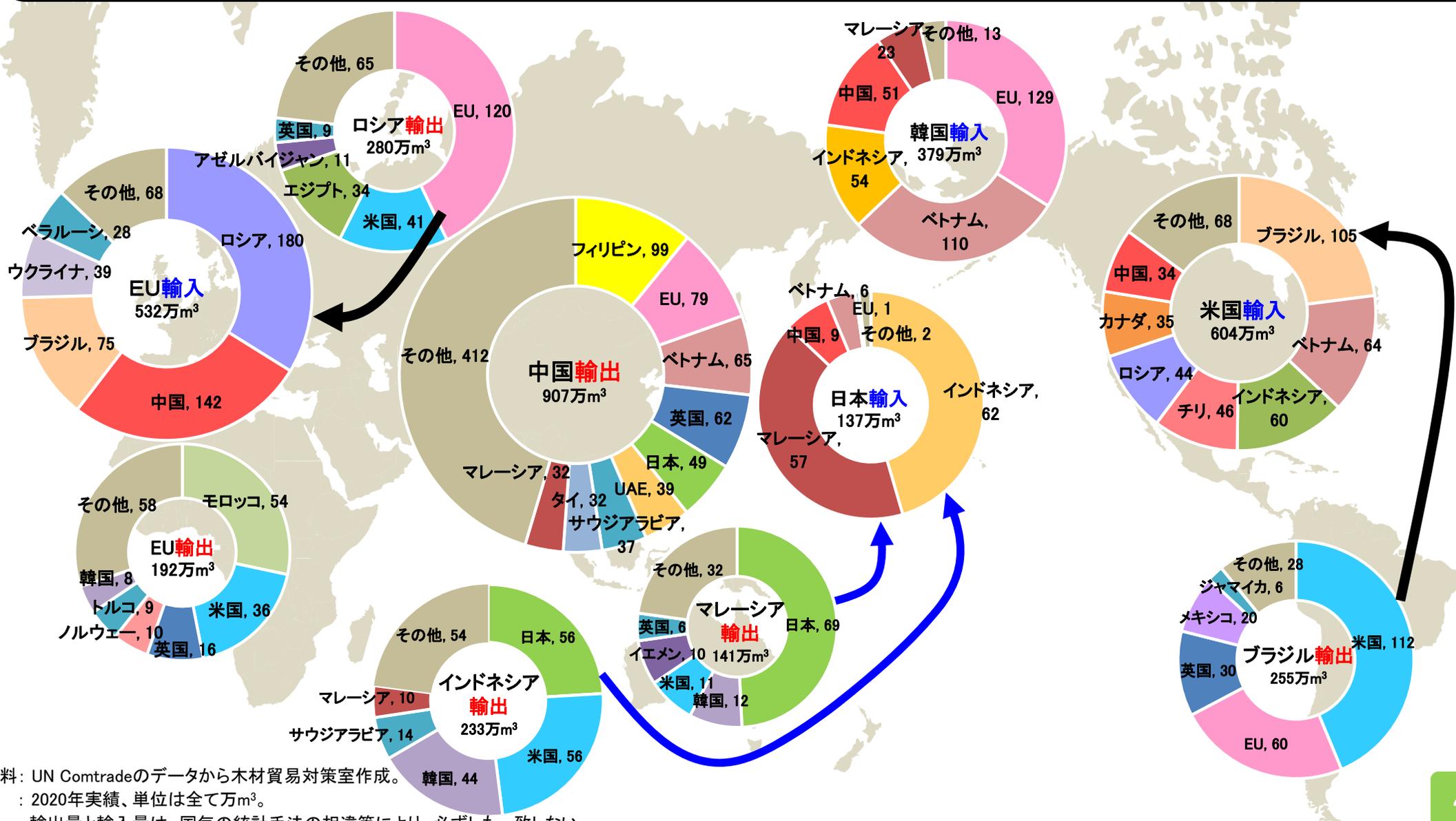
- 2020年における世界の針葉樹製材輸出量は約1.43億万m<sup>3</sup>。カナダ(25%)、EU(24%)、ロシア(21%)で全体の70%を占める。
- 同年における世界の針葉樹製材輸入量は約1.21億m<sup>3</sup>。米国(29%)、中国(21%)、EU(8%)で全体の58%を占める。
- 主な流れは、カナダ→米国(3,000万m<sup>3</sup>程度)、ロシア→中国(1,700万m<sup>3</sup>程度)、ロシア→EU(360万m<sup>3</sup>程度)、EU→中国(400万m<sup>3</sup>程度)など。
- 日本の輸入量は479万m<sup>3</sup>で、世界の4%を占める。EUからの輸入が48%、カナダが24%。



資料：UN Comtradeのデータから木材貿易対策室作成。  
 注：2020年実績、単位は全て万m<sup>3</sup>。  
 輸出量と輸入量は、国毎の統計手法の相違等により、必ずしも一致しない。

### 3. 世界における合板の貿易

- 2020年における世界の合板輸出量は約2,600万m<sup>3</sup>。中国(35%)、ロシア(11%)、ブラジル(10%)、インドネシア(9%)で全体の約65%を占める。
- 同年における世界の合板輸入量は約3,200万m<sup>3</sup>。米国(19%)、EU(17%)、韓国(12%)で全体の約48%を占める。
- 主な流れは、ロシア→EU(150万m<sup>3</sup>程度)、ブラジル→米国(110万m<sup>3</sup>程度)など。
- 日本の輸入量は137万m<sup>3</sup>で、世界の4%を占める。インドネシアからの輸入が45%、マレーシアが42%。



資料：UN Comtradeのデータから木材貿易対策室作成。

注：2020年実績、単位は全て万m<sup>3</sup>。

輸出量と輸入量は、国毎の統計手法の相違等により、必ずしも一致しない。